

| | | | |
|---|--|---|--|
| 施設名 | 公立八女総合病院 | | |
| 2017年度のAct : カンファレンスによって抽出されたチームの課題・問題点 | | | |
| Act1 | 苦痛スクリーニングからの緩和ケアチーム依頼の徹底（スクリーニングシートがうまく活用されていない） | | |
| Act2 | 緩和ケアチームとしての質の向上の評価が必要 | | |
| 2017年度のPlan : 改善計画① (上記の課題・問題点についての目標と具体的な改善計画) | | 2017年度の改善計画①に対して実施した内容・1年後の目標達成状況 | |
| 目標 | 計画 | Do : 実施した内容 | Follow-up (Check) : 1年後の目標達成状況・理由 |
| 苦痛スクリーニングを活用し、患者・家族の苦痛を抽出できる。 | <ul style="list-style-type: none"> 苦痛スクリーニングの勉強会の実施 現場の意見の抽出 対象者の拡大のため外来へのアプローチ | 改善計画について、チーム全体で実際に実施したことや工夫したこと、実施が難しいことや苦労したこと 目標：苦痛スクリーニングを活用し、患者・家族の苦痛を抽出できる。苦痛スクリーニングの勉強会の定期的な実施と集計している苦痛スクリーニングのアセスメントが不足している場合などは各部署に返却を徹底していった。また苦痛に対して看護計画やケアとして行われているかも記録上でチェックしていった。外来までは拡大ができなかった。現在の緩和ケアチームのマンパワーでは難しい部分もある。 | 達成状況 ：概ね達成している 理由 ：苦痛スクリーニングにおいての全患者の徹底は図れてきた。スタッフアセスメント欄作成により記載された苦痛をスタッフが抽出できるようになり、依頼件数も268件から314件に増加している。外来が化学療法患者のみの対応。拡大と継続が必要。 |
| 2017年度のPlan : 改善計画② (上記の課題・問題点についての目標と具体的な改善計画) | | 2017年度の改善計画②に対して実施した内容・1年後の目標達成状況 | |
| 目標 | 計画 | Do : 実施した内容 | Follow-up (Check) : 1年後の目標達成状況・理由 |
| ピアレビューを実施し、緩和ケアチームを客観的に評価し、課題がみえる。 | <ul style="list-style-type: none"> 福岡県がん診療連携協議会のピアレビューを実施と他施設のピアレビューに参加 ピアレビュー結果からチームでカンファレンスを行う | 改善計画について、チーム全体で実際に実施したことや工夫したこと、実施が難しいことや苦労したこと 目標：ピアレビューを実施し、緩和チームを客観的に評価し、課題がみえる。福岡県の取り組みでもあったピアレビューを実施。チーム内の全ての職種においてできていること、課題両側面がみえ、すでに変更すべきところは変更し対応している。 | 達成状況 ：達成している 理由 ：ピアレビューを通して当院のチームを客観的にみてもらい、また他の病院のチームもみることができたことで、評価すべきところと課題が明確化された。すでに改善に動いている。専門医認定研修施設も目指している。 |

| | | | |
|--|--|--|--|
| 2018年度のAct : カンファレンスによって抽出されたチームの課題・問題点 | | | |
| Act1 | 依頼元の医療スタッフとともにカンファレンスした後、アセスメント・推奨の内容が記載のみで終わると、依頼元とうまく共有できないことがある（それにより採用されないケースも少なくない） | | |
| Act2 | (前年度からの継続課題) 入院、外来と緩和ケアの継続性の強化 | | |
| 2018年度のPlan : 改善計画① (上記の課題・問題点についての目標と具体的な改善計画) | | | |
| 目標 | 計画 | | |
| 依頼元とアセスメント、推奨の共有が徹底できる。 | <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケアチームラウンド、カンファレンス時に依頼元に記録と口頭でフィードバック。 カンファレンスのなかで誰が誰（どこ）にアプローチをかければ最善なのか確認していく。 | | |
| 2018年度のPlan : 改善計画② (上記の課題・問題点についての目標と具体的な改善計画) | | | |
| 目標 | 計画 | | |
| 緩和ケアチームサポート患者において、退院後も継続できる。 | <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケアチームサポート患者の再来日、再度苦痛スクリーニングを行い、緩和ケアを提供できる状況を作っていく。 外来での苦痛スクリーニングの実施。 | | |